

秋季セミナー



働き方改革に対しこの5年間取り組んでおりますが、なかなか実行にうつせていないように感じます。国交省は週休2日ということでかなり進みますが、他のJRJT、NEXCO、JRと民間はまだ実際問題 4週6休、4週5休に対して温度差を感じてしまいます。来年の4月の制度改正まであと半年、当協会としては日建連と協力して国交省と意見交換会を重ねておりますが、トンネルの歩掛かりの実態が把握されていないようにみえます。今現在行われている施工の契約と積算内容は「残業時間2時間、就業日数は4週6休」です。それが来年から4週8休となり

ます。その契約の中でどのようになっていくのか非常に危機感を持っております。今の条件で仕事を行えば、法改正後には全部違反になってしまいます。今までは罰金はなかったけれど、これからは罰則がつくこととなります。皆さまに対応いただいた様々なアンケートをベースに国交省と協議しておりますが、実態にあった働き方改革をやっていかないと来年4月以降は工期に間に合わなくなってしまいますし、我々の生産性も上がらなくなってしまいます。これまでは工期に間に合わせるため、生産性を上げるため、休みを削って仕事してきたデータが積算基準になっているので、本当の歩掛りを作ってもらわないと我々は生き残っていけないということを国交省や日建連に訴えております。時間規制があるなら人を増やしてやればいいではないかと簡単に思われるかもしれませんが、人手不足も深刻な問題です。これを乗り越えていくには環境整備、そして生産性を上げるには機械化が必要だと思っています。

委員会調査研究報告

- ① 労務安全衛生専門委員会
安全教育動画『安全に作業を行うために～トンネル工事で働くみなさまへ～』
- ② 技術・情報委員会
『トンネル切羽立入判断基準』に関するアンケート調査結果について
- ③ 施工環境委員会
『トンネル施工機械トラブル事例の調査分析と対策提言』について

行政講演

『建設産業における諸課題とその対応の方向性について』
国土交通省 不動産・建設経済局 建設業課
企画専門官 黒田洋介 様

『第十次粉じん障害防止総合対策及び騒音障害防止のためのガイドラインについて』
労働基準局 安全衛生部 労働衛生課
中央じん肺審査医 明石一浩 様



来賓挨拶要旨

国土交通省 大臣官房技術調査課長 橋本雅道 様



会長からシビアはお話がありました。2024年問題、週休2日問題に対し、同じように危機感を持っております。我々の業界というのは非常に厳しい業界だと言われております。だからこそ「休暇」「給与」「やりがい」について言及されますが、それだけに、それが少し向上するだけでも様々な方面から注目されると期待しております。特に専門の方々というのは極めて高いノウハウをお持ちです。今まではそれを「少しでも早く安全にトンネルを掘る」という事に使っていたと思っておりますが、それを「より安全に」というのは変えないまま「いかに効率的に時間を減らしながら、業者の方がその休みも確実に取りながら、必要なものをどう掘っていくのか」ということについて、そのノウハウを生かして新しい技術を開発したり、知恵を出して下さることを期待しております。

一般財団法人建設業振興基金 理事長 谷脇 暁 様



7月に新しい国土形成計画が閣議決定されました。その中で一番中心的な部分である高規格道路ネットワーク、今までは1万4千キロのものを2万キロプラスアルファのネットワークを整備して、その機能を充実させていこうというもので、その中では、これから益々トンネル専門工事業の皆様の活躍の場が広がっていくと思っております。そのためには、若い人に魅力ある業界にしていくことが重要です。

一般財団法人日本建設業連合会 常務執行役 北内正彦 様



今、政府が働き方改革を推進しており、日建連としてもそれに対応して週休2日実施工動計画や残業時間の上限規制に対して適正化をはかる自主規制を掲げてきました。更には、来年からの2024年問題に対して、何度か野崎会長と話し合いをしました。具体的には発注者の中には積算基準として1日8時間を超える労働を前提とされているところが多いのではないかとということで、これに対して真摯に対応しなければならないと思っております。現場の運営に悪影響をおよぼしてはいけませんので、これからも専門協と協力して取り組んでいきたいと思っております。

現場見学会

《概要》

発注者：東日本高速道路(株) 関東支社
元 請：鹿島建設・前田建設工業
佐藤工業JV
施工：横山工業(株)
工期：令和3年2月～令和8年8月
トンネル総延長：L=3,946m
最大掘削断面積：約485㎡
掘削方式：機械掘削、補助ベンチ付全断面工法
ズリ出し：ダンプ方式
分合流区間：先進導坑を掘削した後、拡幅



10月13・14日に道路トンネルとして世界最大級の断面積を掘削し非常に注目度の高い「横浜環状南線 釜利谷庄戸トンネル工事」にて現場見学会が開催されました。周辺に住宅地が広がるエリアで環境に配慮しながら掘削し、安全に多様なトンネル構造物を構築する現地を見学し、現場運営などについて意見を交わしました。

JV工事事務所で行われた説明会では、同協会の横山英樹技術・情報委員長の挨拶に続いて、鹿島JVの居川総合所長よりビデオ映像を交えて工事概要が紹介されました。釜利谷庄戸トンネル工事は、圏央道の一部を構成する横浜環状南線のうち、釜利谷JCTとの接続部から環状4号線との交差部にかけて、約1

kmの区間に7本とトンネル(総延長3946m)を構築。釜利谷JCT側から4本のトンネルが最小隔離60cmで並ぶ「4連併設・近接区間」、2本のトンネルが岐・合流するため大断面となる「分合流区間」、最小1.7mという低土被りトンネルとなる「低土被り区間」の3区間で構成されます。見学会では最大幅29m、最大高さ20m、断面積485㎡の超大断面や、低土被り区間などを見て回りました。

見学会後には、研修・意見交換会が開かれました。冒頭、野崎会長は「現場では約500㎡という大断面を見せてもらったが、ほかにも低土被りや、最小隔離60cmでの掘削など、非常に難易度が高い」とした上で「2024年4月から始まる時間外労働の上限規制は非常に大きな課題だが、力を合わせて乗り切っていきたい」と述べました。意見交換では、横山工業の細川所長と参加者との質疑応答を中心に行われました。工事現場を見学したのが初めてという女性参加者からは「トンネルの大きさや雰囲気、迫力に感動した」などの感想が聞かれました。

労務安全担当者研修会

10月20日に東京都港区で労務安全担当者研修会が行われました。

《意見・情報交換会》

【検討テーマ】会員相互による安全に関する情報・意見交換会等



- ① 協会活動状況報告等について
- ② 最近における労基署の臨検調査状況について
- ③ 労働安全衛生関係法令等に係る直近の改正について
- ④ 時間外労働の罰則付き上限規制への対応について
- ⑤ その他(各社における安全対策等について)

《講演・質疑応答》

演題：『新型油圧ショベルの新機能と安全対策機能について』

講師：日本キャタピラー合同会社 首都圏地区
東京営業部担当部長 柳沢健一 様



演題：『～建設機械の安全対策～AIカメラ・サラウンドカメラ・ソナーのご紹介』

講師：東海クラリオン株式会社 課長 小野悟史 様



演題：『各種保護具の安全性について』

講師：(株)谷沢製作所 東京第三営業所 所長 佐々木 洋 様



合同現場安全パトロール

12月6日に首都圏中央連絡自動車道芝山工事(千葉県香取郡多古町地内～千葉県山武郡芝山町地内)にて第2合同現場安全パトロールが行われました。

トンネル直上部の地表は町道やゴルフ場など全線にわたり土地利用があり、その直下を平均土被り10mで掘削する工事です。又、未固結な砂質土を主体とした地質構造で、これまでに沿線のトンネルでは流砂現象による地表陥没が発生し、同様に厳しい条件下での施工となることから適切な補助工法の選定や施工技術の検討を課題としています。

坑内、坑外共に資機材の整理整頓が良く成されており、事故・災害の発生しにくい環境でした。坑内300mに設置してある坑内電話に短縮番号一覧が無かったので取付けることを推奨しました。



《概要》

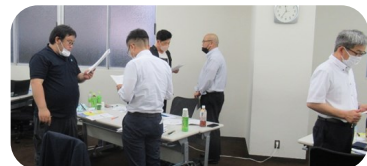
発注者：東日本高速道路(株)
元 請：(株)大林組・岩田地崎建設(株)
特定建設工事共同企業体
施 工：吉田直土木(株)
工 期：令和3年8月～令和7年1月
工 法：全断面機械掘削工法
補助工法(AGF、鏡ボルト)

幹部養成研修会

8月28・29日に東京都港区にて幹部養成研修会が行われました。1日目は、企業会計の理解と原価管理手法の習得に関する講義・演習を、2日目は、若者を定着させる働き方改革の理論と実践を取り入れた講義・ディスカッションが行われました。

「会計の研修は、受講者のレベルを統一した方が良い」「人財育成についての研修がとても面白かった」「人との接触の仕方や、人の動かし方とマネジメント方法について考えさせてもらった。今後の工事や仕事に活かしていきたい」「幹部育成をテーマにしているのであれば、その講義が丸2日あっても良い」などの感想がありました。

【グループ討議の様子】



《講義内容》



『建設業の特性と企業会計に必要な知識及び原価管理手法について』

講師：建設産業経理研究機構 下田 弘幸 様

『楽しく活気のある職場のために必要な人間関係管理論の知識』

講師：中小企業診断士 手島 伸夫 様



ずい道等の作業主任者技能講習

- 10月6日に「ずい道等の覆工作業主任者技能講習特例講習」を開催し、13名の方々が修了されました。
- 12月1・2日に「ずい道等の掘削等作業主任者技能講習」を開催し、14名の方々が修了されました。

登録トンネル基幹技能者講習

- 11月9～12日に富士教育訓練センターにて登録トンネル基幹技能者講習が開催されました。
- 11月27日に行われた登録基幹技能者育成委員会(外部委員2名を含む)で9名の修了が承認されました。
- 累計修了者は802名になりました。
- 12月に更新講習が行われ、44名の資格有効期限が更新されました。

協会からのお知らせ

令和5年5月に㈱新宇商店、9月にマルワ食品㈱が入会し、令和6年2月から㈱原工業が新規に会員となります。

【今後の予定】

2024/05/17・18	ずい道等の掘削等作業主任者技能講習
2024/07/18～21	令和6年度第1回登録トンネル基幹技能者講習
2024/08/02・03	ずい道等の覆工作業主任者技能講習
2024/10/04・05	ずい道等の掘削等作業主任者技能講習
2024/11/14～17	令和6年度第2回登録トンネル基幹技能者講習
2025/02/07・08	ずい道等の掘削等作業主任者技能講習(シールド)

この会報に対するご意見・ご感想、又ご入会に関する詳しいお問合せは下記の事務局までお願いします。



一般社団法人 Association of Nihon Tunnel Construction Sub-contractors

日本トンネル専門工事業協会

〒105-0003 東京都港区西新橋1-9-1 ブロードリー西新橋9階

TEL:03-5251-4150 FAX:03-3591-3550 URL : <http://www.tunnel.jp>